



メール会員には原則として、印刷物での会報は郵送されません。印刷物として欲しい方は、ご自分でプリントアウトをしてください。その分、メール会員にはホームページやメール等による情報面で様々な特典があります。是非、上記のホームページをご覧ください。

本号の内容

巻頭言 : 野沢令照東北支部長(盛岡フォーラム実行委員長・仙台市適応指導センター所長)

1 「賢治と啄木青春のまち・融合フォーラム2004 in 盛岡」 参加の募集を開始します(申込書つき)

2 通信による総会の案内

盛岡フォーラムに参加できない方は、紙上およびホームページでの参加・意思表示ができます。

印刷物会員は、同封の葉書で返送してください。

メール会員は、ホームページから返信してください。

平成15年度会計報告、平成16年度役員(案)等

3 「年報」と「資料集」を発行

プログラム集積の資料が発行され、全会員に無償で送付されます

これまでの学社融合資料をプログラム化し、冊子にしてお手元に届くようにしていきます。これまでに、フォーラムで発表したり、事務局へ資料を送って来られたりした方のものをまとめましたものです。

また、編集委員会を兼ねた学社融合の勉強会を開始します。どなたでも参加できます。

4 会員登録をファックスでも受け付けます

5 その他

2006年度以降のフォーラム開催の立候補を受け付けます

巻頭言 野沢 令司(融合研東北支部長・盛岡フォーラム実行委員長・仙台市適応指導センター所長)

梅雨入りも間近な東北からの発信です。400年ぶりと言われるダブル彗星(ニート彗星&リニア彗星)はご覧になりましたでしょうか。日々の仕事や活動に忙殺されている皆様にこそ、ひととき天上の世界に思いを馳せていただきたいと思います。

美しい星空も残る自然豊かな東北ですが、いま岩手を中心に燃え上がっております。前号でご紹介致しました「賢治と啄木青春のまち・融合フォーラム2004 in 盛岡」の開催に向けて、着々と準備を進めているところです。東北支部あげて会員の皆様のお出でをお待ちしておりますので、奮ってご参加下さい。さあ、今から予定を確保してください。8月21日(土)、22日(日)は、賢治と啄木青春のまち・盛岡に大集合です。

情報教育に思う

また、痛ましい事件が起きてしまいました。毎日のように流される報道に、混乱と戸惑いの渦の中に巻き込まれているように思います。ホームページへの書き込みがきっかけという話から、情報教育の是非まで論じられています。様々なとらえ方があるのは当然ですが、短絡的な考え方には、危険を感じます。

今回の出来事に限らず、ここ数年の間におきた子どもに関わる事件には、私たちの想像を超えるものがあります。教育の根幹に関わる大きな問題が提起されています。今、何をすべきなのか、どうすればいいのか知恵を出し合って考えるべき時だと思います。そして、私たち一人ひとりが、やれることから始めることが大事です。議論だけで終わらせるのではなく、行動することの意義をもう一度自覚する必要があります。

情報教育の立場からも、真剣に論じ、行動を起こすことが必要だと考えています。子どもたちの世界に急速に広まるバーチャルな空間では、これまでの常識では通用しないものもたくさんあるのが当然です。様々な弊害をもたらすから子どもたちを遠ざけるのではなく、こうした世界を生き抜く力を子どもたちに身につけさせなくてはなりません。

盛岡フォーラムの分科会の一つに「情報は融合の味方」があります。ここでも当然話題になることと思いますが、存分に議論を深めていただければと思います。

情報に関わる話題をもう一つ。これまた盛岡フォーラムの分科会「子どもの自尊と可能性を広げる」の中で報告させていただきますが、先頃「仙台市不登校支援ネットワーク」を立ち上げました。これは、産・学・民・官のネットワークで、不登校問題に対応しようとするしくみですが、社会全体で取り組む気運を高めようというねらいがあります。特に、なかなか手を差し伸べられないひきこもり傾向の子どもたちをつなぐ手だてとしてITを活用しようという計画ですが、正に、メールやチャット、ホームページ上でのコミュニケーションを積極的に取り入れようとしています。

あまりにもタイミングが悪すぎるという声も聞こえてきますが、あえて今だからこそ必要だと思っています。ITは諸刃の剣、使い方によっては宝にもなるし凶器にもなります。ひきこもりがちな子どもたちにとって、有用なツールになることを、実践を通して明らかにしていきます。図らずもIT関連企業各社が参加してくれていますので、専門的なノウハウも存分に発揮していただきながら、一人でも多くの子どもたちを元気にしていきたいと思っています。

ネットワークの立ち上げに関わりながら、市民団体の方々はもちろん、民間企業の方々の前向きで協力的な姿勢に、少々驚かされました。社会のために、子どもたちのために、進んで支援してくれる人々の多さに意を強くするとともに、これからの時代の展望にも明るい光が見えてきたように感じました。そして、こうした人と人との強い絆を生み出し、子どもたちを健やかに育てる社会の実現を目指すとき、融合研で培われた力の大きさを実感しています。

さあ、最後に一言。賢治と啄木青春のまち・盛岡で逢いましょう！

1 「賢治と啄木青春のまち・融合フォーラム2004 in盛岡」開催のご案内

大反響！！ 参加の募集が始まりました！

今年の融合研最大の事業である融合フォーラムの概要が固まりました。東北の地では、第2回目の仙台市に続いて、2度目となります（ミニフォーラムを含めると3度目）が、支部組織も強固な東北ですので準備も万全です。また現在、各地で進行している様々な視点からの融合活動が話題になるようにと分科会も多彩です。さらに、当日だけではなく、フォーラムを迎えるまでの意見交換も充実させて、質の高い充実したフォーラムになるようにとの試みもされています。必ずやご期待に沿えるものと思います。盛岡市は、宮澤賢治や石川啄木そして「銭形平次」の作者である野村胡堂も同時期に盛岡で青春時代を過ごしました。（フォーラム終了後に、地元の会員が案内してくれる「オプショナルツアー」の企画もあります）。どうぞ、奮ってご参加いただきたいと思います。

大反響！！ ぜひご参加を！

1. テーマ：市民の自立を目指した生涯学習社会の創造と市民との協働

学校と地域の融合教育研究会では、2003年の大会において「学社融合」が、いつでもどこでもだれでも学べる生涯学習と安全で安心なノーマライゼーションのコミュニティづくりに寄与する学校像をめざしていることを確認いたしました。

盛岡大会は、大阪大会の提言を受けて、さらに市民が自ら考え行動する実践を検証し、今、市民が学校と協働し何を創りあげていくべきかを問いかける大会とします。

2. 開催日：8/21(土) 12:00 受付～ 8/22(日) 12:00 終了

融合研総会+基調講演+6分科会+屋台フォーラム+懇親会+子供からの提言+パネルディスカッション+オプションツアー

スケジュール

| | | | | |
|---------|-------------|----------------------------|-------------|---------|
| 8/21(土) | 12:00～12:30 | 総会 | 12:30～ | 受付 |
| | 13:00～13:15 | 開会行事 | 13:15～14:45 | 基調講演 |
| | 15:00～17:00 | 分科会 | 17:15～18:15 | 屋台フォーラム |
| | 18:30～21:30 | 懇親会+セリ市 | | |
| 8/22(日) | 9:00～9:30 | 分科会報告 | 9:30～10:00 | 子どもの提言 |
| | 10:00～12:00 | パネルディスカッション | 12:00～12:10 | 閉会行事 |
| | 13:00～ | オプションツアー「賢治と啄木そして胡堂の青春ツアー」 | | |

3. 主催 学校と地域の融合教育研究会

4. 共催 盛岡市教育委員会 紫波町教育委員会

5. 後援 岩手県教育委員会 盛岡管内社会教育協議会 日本教育新聞社 東和町教育委員会 矢巾町教育委員会
岩手町教育委員会 葛巻町教育委員会 西根町教育委員会 松尾町教育委員会

6. 内容(一部予定も含みます)

基調講演 「まちづくりと学社融合」 講師；えにしやの清水義晴さん

まちづくりは、小さな声や弱いところから始まる。新しいワークショップによる実践を仕掛けてきた清水さんのお話は、これからの学社融合に大きな衝撃となるでしょう。

分科会(案) 分科会の内容は予定です。一部変更がある場合もあります。

- ・6分科会を予定しています。
- ・それぞれの分科会を企画プロデュースする担当者を設定しました。
- ・分科会の内容と担当者

| | |
|-------------------------|------------------|
| 1. おやじ会の権利回復 | 担当：仙台市・斎藤さん・石垣さん |
| 2. この本大好き、大人も大好き、子どもの読書 | 担当：紫波町・大石さん |
| 3. 情報は融合の味方 | 担当：仙台市・成瀬さん |
| 4. はじめての学社融合 | 担当：紫波町・藤尾さん |
| 5. まちづくりのコーディネーターをめざそう | 担当：仙台市・針生さん |
| 6. 子どもの自尊と可能性を広げる | 担当：仙台市・鈴木さん・門真さん |

1. 親父の権利回復（楽しくって育児なしの父親でいられない?）

家庭は母だけのものではない。全国のおやしネットワークの動きや仙台の事例、千葉県鎌ヶ谷市初富小の事例etc

コーディネーター：陣内雄次さん（融合研究会・宇都宮大学教育学部助教受 NPO とちぎボランティアネットワーク理事）

2. この本大好き、大人も大好き、子どもの読書

『ハンナのかばん』（ポプラ社）の訳者でNPOホロコースト資料センターの石岡史子さんと、読書について考える。

3. 情報は融合の味方

仙台のシニアネットや宮城県玉沢小学校、愛知県小牧中学校などの事例を紹介し、ITのより良い活用を考える。

コーディネーター：金 正信さん（岩手県立大学専任講師）

4. はじめての学社融合

開催地にとっての入門分科会。岩手で進めている教育振興運動を融合の視点で検証し、新しい形との融合を目指す。

コーディネーター：松下 俱子さん（融合研究会・独立行政法人国立少年自然の家理事長&聖徳大学客員教授）

5. まちづくりと学校：まちづくりコーディネーターを目指そう

子どもの創造性と市民性の育成を目指し教育界に提言をしている経済同友会の事例等を交え、企業経営に学びつつ学校ができる社会貢献について考える。

コーディネーター：森川貞雄さん（融合研究会・日本体育大学体育社会学教授）

6. 子どもの自尊と可能性を広げる

自尊心や自信につながる取り組み事例を紹介し、併せてフリースクールやコミュニティスクールを考える。

コーディネーター：小澤紀美子さん（融合研究会・東京学芸大学教授住環境教育学）

屋台フォーラム

融合研名物、全国に発信したい、自分達の発表をしたいと思う人のための自由な発表スペース。参加者も興味ある屋台を覗くようにお気軽に自由に参加できる楽しい1時間。発表したい方々が屋台のように軒を連ねて自慢の実践を発表+懇親会・名産物のセリ市

発表者を募集しています。希望の方は下記の事務局まで。

せり市

懇親会では全国から集まった人たちと大いに語り盛り上がり。融合研名物せり市は会員稲垣君の名調子で全国の名品を紹介しながらお国自慢が飛び出す交流ステージ。

特別企画【融合居酒屋】

21:00~「融合の語り部」3氏がそれぞれ居酒屋を開店。参加費各¥500+投げ銭歓迎

1. 宮崎 稔会長 融合軒「『学校の裏側』：学校の厚い壁を乗り越えるための具体策を語り合う」
2. 岸 裕司副会長 秋津菌散布亭「子どもが輝く『子どもバザー』の散布方法」を紹介し語り合う
3. 越田幸洋プログラム研究開発委員長 かぬま屋「こうすれば地域と学校は融合できる~そのコーディネート」を語り合う

8月22日（日）全体会+パネルディスカッション

ファシリテーターグラフィックス

新潟まちづくり学校のメンバーを中心に各会場で話し合いと同時進行で楽しい記録が披露されます。ディスカッション内容がすぐわかるばかりでなく参加者の新しい発見にもつながります。

パネルディスカッション

パネラー：

國井達夫氏（盛岡市教育振興推進委員会会長）

清水義晴氏

役重眞喜子氏（岩手県東和町教育委員会次長）

コーディネーター：野澤令照氏（学校と地域の融合教育研究会東北支部長）

12:00 終了解散 その後13:00~オプションツアー（希望者）

7. 参加費

大会 : 会員(一般)1,000円、会員(学生)500円、非会員(一般)2,000円、非会員(学生)1,000円
昼食は主催者では用意致しません。会場または近辺で各自おとり下さい。

懇親会付宿泊 : 10,000円(懇親会のみ3,500円)

オプションツアー : 「賢治と啄木そして胡堂ゆかりの地めぐりと茅葺露天風呂の温泉」
1泊2食付 12,000円程度

8. 開催場所

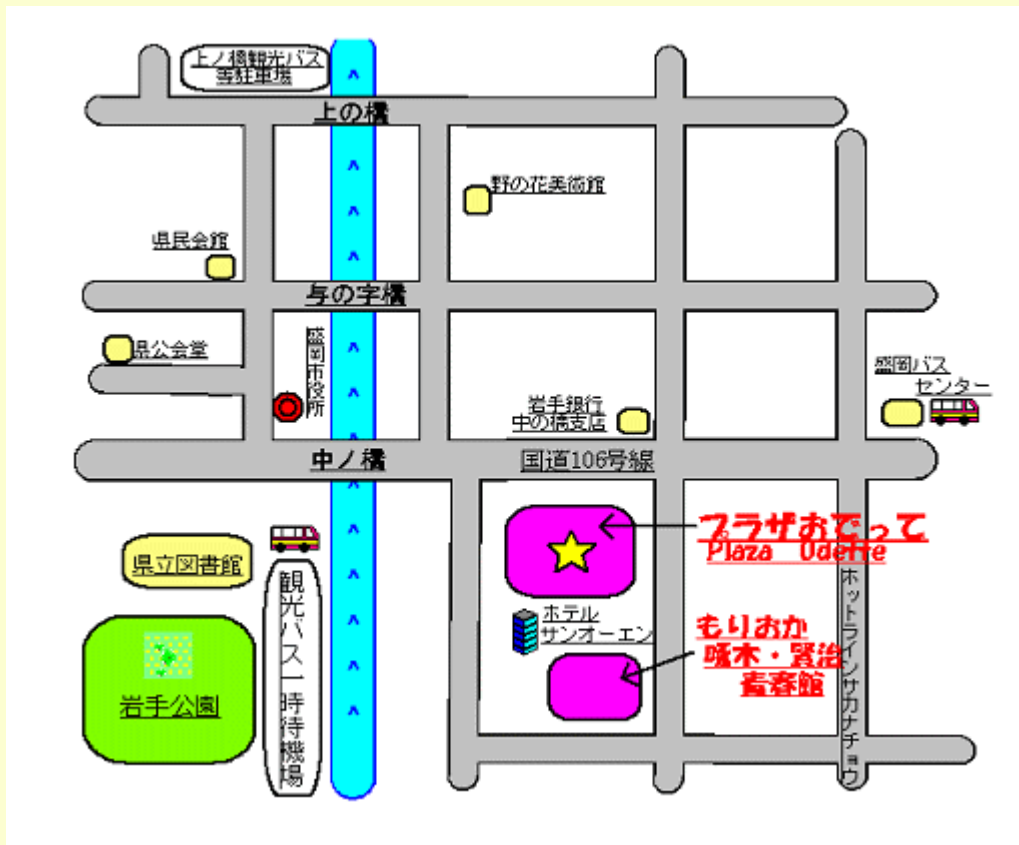
フォーラム主会場「プラザおでって」

〒020-0871 岩手県盛岡市中の橋通1-1-10 (TEL) 019-653-4417

http://www.odette.or.jp/kankou/pl_main/pl_main.html

分科会・懇親会・宿泊「ホテルサンオーエン」

〒020-0871 岩手県盛岡市中盛岡市中ノ橋通1-1-21 (TEL)019-653-7000



【バスのご案内】

1. JR 盛岡駅前バスのりば のりばから「盛岡バスセンター行き」に乗車
2. JR 盛岡駅前バスのりば のりばから「盛岡都心循環バス左回り」に乗車 でんでんむし号乗車
いずれも「盛岡バスセンター」下車 徒歩2分です
JR 東北盛岡駅よりまっすぐ東へ 徒歩30分
花巻空港よりバス「盛岡行」盛岡バスセンター前下車徒歩1分
東北高速道「盛岡インター」より20分

9. その他

6月20日までに発表者原稿締め切り

屋台資料・せり市品郵送について

8月19/20日必着で

ホテルサン・オーエン（〒020-0871 岩手県盛岡市中盛岡市中ノ橋通1-1-21）へ

融合研フォーラム屋台資料またはせり商品と明記の上送付のこと

10. お問い合わせ

「学校と地域の融合教育研究会」事務局（宮崎 稔会長・宮崎雅子事務局長 自宅）

〒285-0843 千葉県佐倉市中志津7-17-4 TEL & FAX 043-463-1929

メール：miyazaki@jb3.so-net.ne.jp

学校と地域の融合教育研究会(融合研)またはこのサイトに関するお問い合わせは
[お問い合わせフォーム](#) またはメール(web-info@yu-go.info) へお願いします。

(1) 宿泊先及び懇親会々場

ホテルサンオーエン（大会会場「プラザおでって」隣りの建物）

〒020-0871 岩手県盛岡市中の橋通1-1-21 TEL：019-653-7000

(2) 屋台発表資料・せり市用名産品も上記会場で受け付けます。

1. **8月17日(火)～19日(木)必着**でお送り下さい
2. 資料はA4版を原則とします。250部を各自で印刷してお送り下さい。
3. 宛先横「融合フォーラム in 盛岡2004」とご記入下さい。
4. 今年から発行する「融合研年報」や「融合事例集」への転載が「不許可」の方は、その旨をご記入下さい。

2 通信による総会

これまで、規約に基づく年1回の融合研の総会はフォーラムの際に行ってききましたが、必ずしも会員の過半数の参加があるわけではありませんでした。そこで昨年度より、フォーラムに参加できない会員にも総会で意思表示をしていただけるようにということで、通信による返信をもとに総会に参加していただくことにしました。今年は、その返信分と盛岡フォーラムでの総会出席者を合わせて、過半数の参加をもって成立の運びとなります。

印刷物会員は返信用の葉書に、またメール会員はホームページから、それぞれ必要事項を記入の上返信ください。ホームページでの投票は後日メーリングリストにてご連絡致します。

(1) 総会の議案

平成15年度事業報告

平成15年度会計報告

平成16年度事業計画

平成16年度役員（案）

その他、事務局会議での決定事項から提案します。

(2) 内容

平成15年度事業報告について

15. 4. 6 事務局会議 場所；秋津コミュニティ

・大阪フォーラムについて

・会則の見直し

15. 4. 27 編集会議 場所；宮崎宅

- ・会報について
- ・ホームページについて
- 15.5.10～5.11 千葉支部大会 場所；さわやか千葉県民プラザ
- 15.6.20 事務局会議「大阪フォーラム最終打ち合わせ」 場所；パンゲア
- 15.9.27～9.28 大阪フォーラム 場所；大阪府青少年自然野外センター
- 15.10.17 事務局会議 場所；宮崎宅
- 15.10.18 融合フォーラムin初富小
- 15.12.28 事務局会議「盛岡フォーラムについて」 場所；パンゲア
- 16.1.12 編集会議 場所；パンゲア
- ・資料集集積について
- 16.3.6～3.7 編集会議「資料集集積」 場所；パンゲア

平成15年度会計報告について

| | | |
|------|---------------|------------|
| 収入の部 | | 1,001,697円 |
| (内訳) | 繰越金 | 466,165円 |
| | 会費(3000円×172) | 534,000円 |
| | (2000円×9) | 18,000円 |
| | 資料代 | 1,500円 |
| | 利息 | 32円 |
| 支出の部 | | 372,534円 |
| (内訳) | 通信費 | 80,590円 |
| | 会議費 | 166,280円 |
| | 事務用品 | 49,962円 |
| | コピー代 | 500円 |
| | ドメイン料 | 75,180円 |
| 残高 | | 629,185円 |

監査の結果、適正に処理されていることを認めます。

監査 野澤令照
小山みさ

平成16年度事業計画について

16.8.21～8.22 盛岡フォーラム 場所；盛岡市おでって
他に、資料集積・冊子化

平成16年度役員(案)について

| | | |
|------------|------|---------------------------|
| 会長 | 宮崎 稔 | (習志野市立大久保東小学校) |
| 副会長 | 岸 裕司 | (習志野市秋津コミュニティ) |
| 同 | 油谷雅次 | (大阪府北貝塚小学校コミュニティルーム運営委員会) |
| 同 | 野澤令照 | (仙台市適応指導センター所長) |
| 同 | 渡辺喜久 | (富士宮市教育委員会) |
| 監事 | 小山みさ | (市川市ナーチャリングコミュニティ) |
| 同 | 常田 洋 | (市川市ナーチャリングコミュニティ) |
| プログラム開発委員長 | 越田幸洋 | (学社融合研究所“かぬま”代表) |

事務局員については、現在検討中です。総会には提案できると思います。

上記の内容について、「ご意見」「ご質問」のある方は、盛岡フォーラムでの総会までに、事務局へご連絡ください。議題としてとりあげさせていただきます。

印刷物会員には、同封した葉書を返送していただきます。メール会員は、ホームページから返信していただきます。

いずれの返信締切日も、集計作業の都合上8/16(月)(当日着)までとさせていただきます。

3 「年報」と「資料集」を発行

このたび、融合研では、「融合資料集」と「年報『学社融合』2004」を発行することになりました。内容については、下記のとおりですので、ご理解の上、御協力よろしくお願い致します。なお、この業務については、融合研プログラム研究開発委員会が担当します。

1 資料集について

融合研発足以来のフォーラム等で発表された資料を収集し、下記のように編集して資料集として発行します。発行経費は日本体育大学森川研究室から支援を受けます。

| | | |
|-----|-----------|-------------|
| 第1集 | 1997～2000 | 発行：2004. 6 |
| 第2集 | 2001 | 発行：2004. 12 |
| 第3集 | 2002 | 発行：2005. 6 |
| 第4集 | 2003～2004 | 発行：2005. 12 |

2 年報について

本会では、今年度から会員の研究実践とフォーラムでの発表等を記録し残すため、融合研規約「第3章(事業)第8条(3)研究情報誌(会報)の発行」にもとづき、年報を発行することになりました。年報の内容は、

1 研究実践報告

会員から公募した論文・実践記録、あるいはML等で発表された論文・実践記録を掲載します。
(担当：プログラム研究開発委員会)

2 フォーラム要項

フォーラムの基調提案、講演要旨、分科会提案資料などを掲載します。(担当：開催地支部など)

3 事務局報告

融合研のあゆみ、会則、入会案内を掲載します。(担当：事務局)

となります。

発行は、毎年8月1日、又はフォーラム開催直前です。

融合研年報「学社融合2004」に収録する研究実践報告を募集します

- 1 募集内容 学社融合に関する論文、実践報告レポートなど
- 2 執筆要領 タイトルを中央揃えて記入する
都道府県市町村名 会員 氏名をまず記入する。
適宜項目立てをして記載する。横書き。文体は自由。
写真は使用しない。
A4版4枚以内とする。1ページは40字×40行を最大とする。
執筆の謝礼はありません。
*会員以外にも配布されるので、執筆内容の公開に関しては執筆者本人が責任を持って関係者の承諾を得てください。
パソコン使用者はワードで作成する。
パソコンを使用しない方は、400字詰め原稿用紙に横書きする。
- 3 提出期限 2004年6月20日
- 4 提出先 パソコン使用者は、メールに添付し、プログラム研究開発委員会委員長 越田幸洋に送付する。アドレスは mailyuki@bc9.ne.jp
パソコンを使用しない方は、下記に郵送する。
〒322-0007 栃木県鹿沼市武子539-31 越田幸洋
- 5 問合せ先 プログラム研究開発委員会委員長 越田幸洋 Tel & fax0289-63-4788

融合研プログラム研究開発委員会の参加者を募集しています

融合研では、今後、融合研プログラム研究開発委員会を本格的に移動させることになりました。プログラム研究開発委員会の業務内容としては、

- 1 融合教育のプログラム研究開発のための学習会の開催
- 2 学社融合プログラムの収集、分析とそれを収録した資料集の発行
- 3 融合教育に関する論文などの収集とそれを掲載した年報の発行
- 4 会員への研究成果情報の発信
- 5 学社融合活動の実践化の支援

を考えています。

これらの業務の中でも、委員会としては実践事例の分析のための学習会を中心業務にしたいと考えています。そのためには、集まる必要があるわけですが、会場が東京になるため、遠方からの参加は難しくなると思います。しかし、今はメール通信があります。資料分析などの研究活動にはメールを使えば、どこにいても参加できます。そこで、委員会の構成を次のようにしていきたいと考えます。

会議に参加できる方 委員

メール通信で行う研究活動にのみ参加する方 メール委員

以上がプログラム研究開発委員会の概要です。

このようなプログラム研究開発委員会に所属することを希望される方は、越田までご連絡ください。そのおり、委員となるのか、メール委員となるのかもお知らせください。皆さんの参加で、きっと楽しく充実した融合研究活動ができるようになることでしょう。たくさんの方の参加をお待ちしております。

【連絡先】 プログラム研究開発委員会委員長 越田幸洋

メール mai1yuki@bc9.ne.jp

Tel & fax 0 2 8 9 - 6 3 - 4 7 8 8

住所 〒3 2 2 - 0 0 0 7 栃木県鹿沼市武子5 3 9 - 3 1

4 会員登録をファックスでも受け付けます

「パソコンを持っていない。」「会員登録が、ホームページからではうまくできない。」という声を聞きます。ファックスでもかまいませんので、事務局までお申し込みください。事務局のFAX番号は、電話と同じです。また、会費(3,000円)の入金を確認後に正式に会員となります。

5 その他

2006年度以降のフォーラム開催の立候補を受け付けます

支部や近隣の人と相談したりして手を挙げてください。あるいは、自分ひとりだけでも、その意向がある方は「事務局へとりあえず相談」してみてください。

また、「2007年度以降なら」という地域でも構いません。「今は、まだあまり推進されていない・・・」という地域でも結構です。フォーラムを機会に、融合の推進が図られたという地域もごさいます。どうぞ、奮ってご応募ください。

各地の情報；会員が企画したり参加したりする講演会やミニフォーラム的な活動が、各地で盛んになりました。情報提供をいただければ、会場地に近い人へ参加を促すことができます。ホームページに常時掲載します。予定のある方は、ご一報ください。

マスメディアに取り上げられたり執筆したものが掲載されたりしたとき、またその予定がある場合は、ご一報ください。プログラムバンクに登載する資料として検討させていただきます。その場合、掲載してよいかどうかを版元にご確認ください。

投稿は、大歓迎です。メールでも印刷物でも結構です。実践されていることや学社融合について思うことなど、事務局へお寄せください。

それぞれの地域で開催するミニフォーラムや勉強会の情報をお知らせください。メールでもファックスでも構いません。ホームページに載せて、都合がつく方に広く紹介します。「規模」の大小や「内容」の偏りは問いません。関心のある方に報せませす。

<申し込み締切日は7/31(土)です>

宿泊者は会場の都合により先着 200 名になり次第締め切ります。お早目にお申込下さい。

| 【参加の形態】 | A | B | C | D | E |
|---|---------|--------|---------|---------|--------|
| 参加費(注1) | | | | | |
| 懇親会費(注2) | | | | - | - |
| 会員(一般) | ¥4,500 | ¥4,500 | ¥4,500 | ¥1,000 | ¥1,000 |
| 会員(学生) | ¥4,000 | ¥4,000 | ¥4,000 | ¥500 | ¥500 |
| 非会員(一般) | ¥5,500 | ¥5,500 | ¥5,500 | ¥2,000 | ¥2,000 |
| 非会員(学生) | ¥4,500 | ¥4,500 | ¥4,500 | ¥1,000 | ¥1,100 |
| 【以下は別途お支払い頂くことになります】 | | | | | |
| 宿泊(注3) | ¥6,500 | ¥6,500 | - | - | - |
| オプションツアー(注4) | ¥12,000 | - | ¥12,000 | ¥12,000 | - |
| (注1) 会員一般(¥1,000)、会員学生(¥500)、非会員一般(¥2,000)、非会員一般(¥1,000) (注2) 懇親会費一律(¥3,500) (注3) 宿泊費は直接ホテルでお支払い下さい。昼食は主催者で準備致しませんので、会場内外の食堂等をご利用下さい。 (注4) オプションツアーは別途徴収します。 | | | | | |

次のページはFAX専用の申込みページです。

事務負担の軽減のために、できるだけインターネットからのお申込みにご協力下さい。その際、メールアドレスが必要となります。

【申込み方法】

このページを、全てご記入の上、1ページのみを「043-463-1929」宮崎稔までFAXして下さい。用紙サイズは「A4縦」に設定されています。後日「参加証」をお送り致します。

賢治と啄木青春のまち 融合フォーラム in 盛岡 2004 参加申込書

この申込書はFAXまたはコピーして郵便にてお送り下さい。

宛先：〒285-0843 千葉県佐倉市中志津7-17-4 融合研 宮崎稔 TEL・FAX 043-463-1929
後日「参加証」をお送りいたします。

| | | | |
|---------------------|----------------------------|---------------|-----------------------------|
| 1 融合研会員ですか？ | はい(会員番号) いいえ | | |
| 2 お名前 | | | |
| 3 ふりがな | | 4 性別 | 男 女 |
| 5 住所 | 郵便番号 - (都道府県からご記入下さい) | | |
| 6 TEL・FAX | TEL - - FAX - - | | |
| 7 参加形態 | 一般 学生 | 8 懇親会に参加しますか？ | (せり市など楽しい行事があります) はい いいえ |
| 9 宿泊を希望しますか？ | はい いいえ | | |
| 10 オプションツアーに参加しますか？ | (岩手のミニツアーです) はい いいえ | | |
| 11 屋台発表を希望しますか | はい いいえ 「はい」の方は内容をお書き下さい | | |

*フォーラム申込者は、会場の都合により先着200名になり次第締め切ります。お早めにお申込下さい。

【参加費】

参加費(下記のとおり)+懇親会費(一律3,500円)は当日受付で頂きます

宿泊費(6,500円)は、直接ホテルでお支払い下さい。オプションツアー費(12,000円)は別途徴収します。

非会員の方で、当日会員申込みをされた方は会員費用になります。

| 会 員 | | 非 会 員 | |
|--------|------|--------|--------|
| 一 般 | 学 生 | 一 般 | 学 生 |
| 1,000円 | 500円 | 2,000円 | 1,000円 |

昼食は主催者では準備致しません。会場内外の食堂等ご利用下さい。

不参加のご連絡は8/19(木)までに事務局にご連絡下さい。それ以降の取り消しは必要経費をいただくこととなります。

(1) 宿泊先及び懇親会々場

ホテルサンオーエン(大会会場「プラザおでって」隣の建物)
〒020-0871 岩手県盛岡市中の橋通1-1-21 TEL:019-653-7000

(2) 屋台発表資料・せり市用名産品も上記会場で受け付けます。

1. **8月19日(木)~20日(金)着限定**でお送り下さい。

この両日以外の到着分は資料として扱えませんが、くれぐれもご注意ください!

2. 屋台資料はA4版を原則とします。250部を各自で印刷してお送り下さい。

3. 宛先横「融合フォーラム in 盛岡2004」とご記入下さい。

4. 今年から発行する「融合研年報」や「融合事例集」への転載が「不許可」の方は、その旨をご記入下さい。